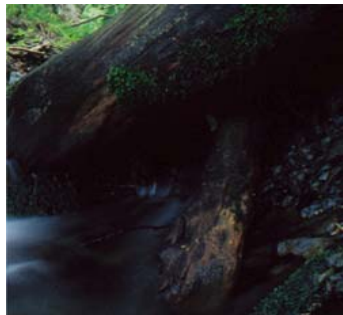


農林中央金庫
The Norinchukin Bank
2010年6月末自己資本・財務等の状況について
2010年8月25日



～高水準の自己資本比率を維持し、安定的な利益水準を確保～

■ 経常利益622億円，四半期純利益652億円

- 資金収支を着実に確保する中，与信関係費用の低減により，安定的な利益水準を確保。

■ 自己資本比率20.82%，Tier I 比率15.10%

- 自己資本比率，Tier I 比率は各2010年3月末対比1.56%，1.22%上昇。引き続き堅固な自己資本基盤を維持。

■ 有価証券等の評価差額は▲6,170億円

- 不安定な市場環境の中，2010年3月末の▲6,058億円とほぼ横這いの水準。

～ 2011年3月期第1四半期の経常利益は622億円～

■ 通期での目標経常利益水準(500～1,000億円)に対し、着実に利益を確保

(単位:億円)	2009年 4～6月	2010年 4～6月	増減額	増減率
1 経常収益	3,642	2,778	-863	-23.7%
2 うち資金運用収益	1,690	1,643	-46	-2.7%
3 うちその他業務収益	1,121	416	-704	-62.8%
4 うちその他経常収益	798	674	-123	-15.4%
5 経常費用	2,852	2,156	-696	-24.4%
6 うち資金調達費用	1,892	1,386	-505	-26.7%
7 うちその他業務費用	430	265	-165	-38.3%
8 うち事業管理費	307	264	-42	-13.9%
9 うちその他経常費用	182	211	28	15.7%
10 経常利益	789	622	-167	-21.1%
11 特別利益	4	191	186	4,206.5%
12 特別損失	8	1	-6	-78.7%
13 税引前四半期純利益	785	812	26	3.3%
14 四半期純利益	574	652	77	13.5%

■ 有価証券売却益346億円(前年同期比▲608億円)

■ 外貨調達コストの低下が主因

■ 有価証券償却293億円(前年同期比+20億円)

■ 有価証券売却損32億円(前年同期比▲42億円)

■ 与信関係費用185億円の収益計上

(前年同期は109億円の費用計上)

• うち経常費用分(貸出金償却)3億円(前年同期比▲105億円)

• うち特別利益分(貸倒引当金戻入)188億円

(前年同期比+188億円)

～ 堅実なポートフォリオ運営～

■ 総資産は2兆717億円増加、純資産は551億円増加

(単位: 億円)	2010年 3月末	2010年 6月末	増減額	増減率
(資産の部)				
1 貸出金	130,380	126,557	-3,823	-2.9%
2 有価証券	440,137	456,663	16,526	3.7%
3 金銭の信託	65,556	66,749	1,193	1.8%
4 現金預け金	21,803	11,251	-10,552	-48.3%
5 その他	26,825	44,199	17,373	64.7%
6 資産の部合計	684,703	705,421	20,717	3.0%
(負債の部)				
7 預金	391,087	392,840	1,752	0.4%
8 譲渡性預金	7,027	6,035	-992	-14.1%
9 農林債	56,117	55,989	-127	-0.2%
10 借入金	22,844	18,977	-3,866	-16.9%
11 その他	168,310	191,710	23,400	13.9%
12 負債の部合計	645,387	665,553	20,166	3.1%
(純資産の部)				
13 資本金	34,259	34,259	-	-
14 資本剰余金	250	250	-	-
15 利益剰余金	8,185	8,838	653	7.9%
16 その他	-3,377	-3,479	-101	3.0%
17 純資産の部合計	39,316	39,867	551	1.4%

■ 短期国債等の増加

■ 大宗は調達の基盤である会員からの預金

■ 受託金の増加

■ 当期利益を着実に確保し、純資産は増加

～有価証券等の評価差額は横這いの水準～

- 有価証券等の評価差額は6,170億円の評価損

(評価差額 単位: 億円)	2010年 3月末	2010年 6月末	増減額
【その他有価証券】			
1 株式	911	568	-342
2 債券	-29	18	48
3 国債	-4	39	44
4 地方債	0	0	0
5 社債	-24	-21	3
6 その他	-6,411	-7,121	-710
7 外国債券	-453	268	722
8 外国株式	-29	-90	-60
9 その他	-5,929	-7,300	-1,371
10 うち投資信託	-5,794	-7,191	-1,397
11 小計 ①	-5,529	-6,534	-1,004
【その他の金銭の信託】			
12 その他の金銭の信託 ②	1,286	1,711	425
【保有目的を変更した有価証券】			
13 その他有価証券から満期保有目的の債券へ 変更したもの ③	-1,814	-1,347	467
14 合計(①+②+③)	-6,058	-6,170	-112

- 株価のグローバル市場での調整により、内外株式、投資信託の評価差額は減少。

- 金利の低下により、内外債券、金銭の信託の評価差額は増加。

注 満期保有目的の債券の貸借対照表計上額と時価との差額は3,492億円(プラス)。
2010年6月末現在、単体ベース
出所: 農林中央金庫

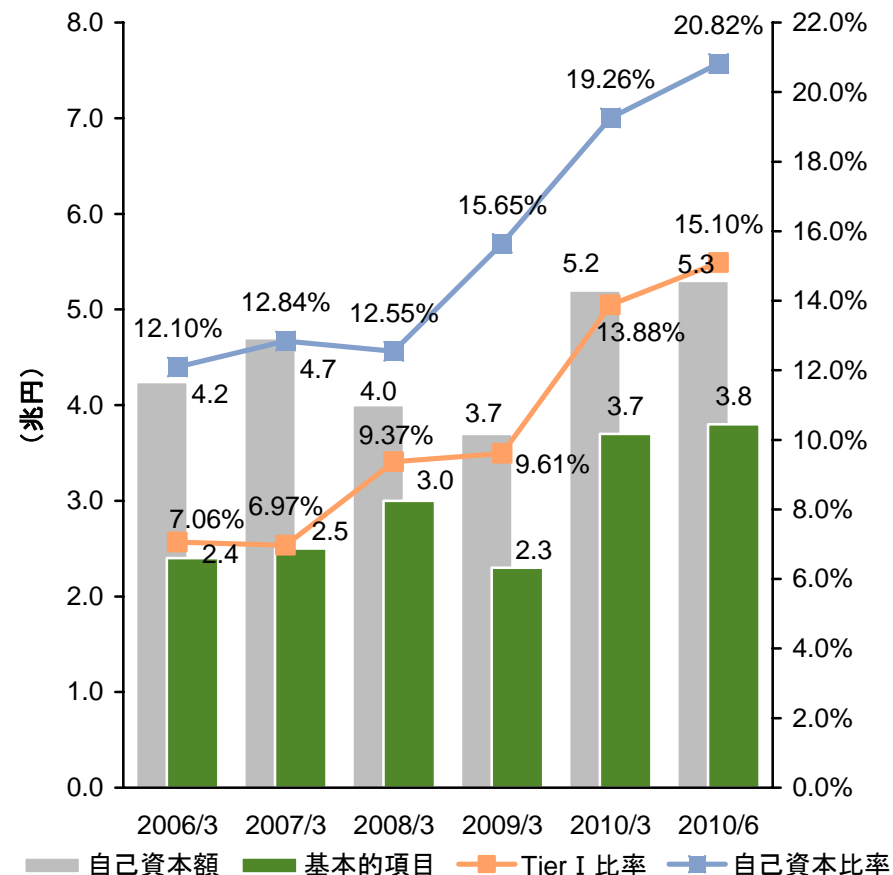
～ 自己資本比率は健全な水準を維持 ～

- 自己資本比率, Tier I比率は各々20.82%, 15.10%。高水準の自己資本基盤を確保

自己資本の内訳(単位:億円)

	2010年 3月末	2010年 6月末	増減
1 基本的項目(Tier I)	37,908	38,657	749
2 うち資本金および資本剰余金	34,509	34,509	-
3 うち利益剰余金	8,194	8,846	652
4 うちその他有価証券評価差額金	-4,066	-4,147	-80
5 補完的項目(Tier II)	17,745	17,526	-219
6 うち永久劣後債務	14,860	14,860	-
7 うち期限付劣後債務および期限付優先出資	2,658	2,439	-219
8 控除項目	3,048	2,911	-136
9 自己資本額	52,605	53,272	666
10 リスク・アセット	273,075	255,846	-17,229
11 自己資本比率(国際統一基準)	19.26%	20.82%	1.56%
12 基本的項目(Tier I)比率	13.88%	15.10%	1.22%

自己資本比率の推移



注: 2010年6月末現在, 単体ベース
出所: 農林中央金庫

～ 証券化エクスポージャー(注1)(注2) ～

- 証券化商品のポートフォリオは①高格付の、②一次証券化商品(資産担保証券(ABS))が中心

1 商品区分別エクスポージャー

(単位: 億円)

	AAA	AA	A	BBB	BB+以下	合計	3月末比	
							合計	3月末比
1 資産担保証券(ABS)	22,033	10	550	65	12	22,672	-2,641	
2 住宅ローン担保証券(RMBS) ^(注3)	4,183	277	220	91	425	5,197	-296	
3 商業用モーゲージ担保証券(CMBS)	1,079	1,261	840	668	560	4,410	-414	
4 債務担保証券(CDO)	2,242	6,564	3,435	1,467	2,173	15,884	-2,116	
5 ローン債務担保(CLO)	1,831	5,879	3,265	1,129	1,598	13,704	-1,981	
6 証券化商品担保 ^(注4)	399	529	127	301	540	1,898	-126	
7 債券担保(CBO)他	11	155	42	36	35	280	-8	
8 その他	-	-	-	2	758	760	-177	
9 合計	29,539	8,113	5,047	2,295	3,929	48,925	-5,645	

2 商品区分別評価差額・損失額

(単位: 億円)

	AAA	AA	A	BBB	BB+以下	合計	3月末比		損失額 ^(注5)
							合計	3月末比	
10 資産担保証券(ABS)	-259	0	-22	0	-2	-285	58	-	
11 住宅ローン担保証券(RMBS) ^(注3)	2	13	29	4	-41	8	56	-26	
12 商業用モーゲージ担保証券(CMBS)	-156	-67	-49	-79	-51	-405	47	-10	
13 債務担保証券(CDO)	-44	-311	-343	-201	-2	-903	150	-15	
14 ローン債務担保(CLO)	-37	-274	-377	-135	-37	-862	137	7	
15 証券化商品担保 ^(注4)	-5	-19	11	-89	34	-69	8	-26	
16 債券担保(CBO)他	0	-16	21	24	-	29	5	3	
17 その他	-	-	-	-	-	-	-	-	
18 合計	-458	-365	-386	-275	-99	-1,584	312	-51	

3 通貨別エクスポージャー

(単位: 億円)

	エクスポージャー	3月末比	評価差額		損失額 ^(注5)
			評価差額	3月末比	
1 米ドル	35,230	-3,779	-985	194	-43
2 ユーロ	5,721	-1,443	-417	100	-1
3 英ポンド	396	-43	-16	3	-
4 円	7,578	-380	-166	14	-5
5 合計	48,925	-5,645	-1,584	312	-51

注1: 証券化商品の定義は、バーゼルⅡにおける証券化エクスポージャーを基本とした内部定義による。サブプライム関連商品を含む。

注2: 証券化エクスポージャーは損失額、評価損失の反映後。一部のCMBSにおいてバーゼルⅢにおける特定貸付債権に含まれるエクスポージャーが証券化エクスポージャーと別に1,238億円あり(評価差額▲16億円)。

注3: サブプライムRMBSを含む。米国住宅金融公社関連のモーゲージ担保証券を含まない。

注4: ABS-CDO, CDO of CDO's等の2次、3次証券化商品。サブプライムRMBSを含むABS-CDO, CDO of CDO'sを含む。

注5: 損失額は減損額と複合金融商品の当年度損益に含まれる評価損益との合計。

注: 2010年6月末現在、単体ベース

出所: 農林中央金庫

～ サブプライム関連商品, モノライン向け与信, レバレッジドローン等 ～

■ サブプライム関連商品へのエクスポージャーは987億円(損失額26億円, 評価差額91億円の反映後)

1. サブプライム関連商品への投資の状況(注1)(単位:億円)

(1) サブプライム住宅ローン担保証券(サブプライムRMBS:一次証券化商品)(注2)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
1 AAA	215	-95	35	-17	-	
2 AA	62	-49	15	26	-2	
3 A	107	80	30	25	-	
4 BBB	11	-25	4	16	-	
5 BB+以下	425	32	-41	-15	-23	
6 合計	821	-56	44	35	-26	

(2) サブプライムRMBSを含むABS-CDO(二次証券化商品)(注3)(注4)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
7 AAA	-	-	-	-	-	
8 AA	-	-	-	-	-	
9 A	-	-	-	-	-	
10 BBB	78	-28	20	0	-	
11 BB+以下	23	-19	20	3	-	
12 合計	101	-48	41	3	-	

(3) サブプライムRMBSを含むCDO of CDO's(三次証券化商品)(注5)(注6)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
13 AAA	-	-	-	-	-	
14 AA	-	-	-	-	-	
15 A	-	-	-	-	-	
16 BBB	-	-	-	-	-	
17 BB+以下	63	2	5	5	-	
18 合計	63	2	5	5	-	

(4) サブプライム関連商品計 ((1)～(3)の合計)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
19 AAA	215	-95	35	-17	-	
20 AA	62	-49	15	26	-2	
21 A	107	80	30	25	-	
22 BBB	90	-53	24	16	-	
23 BB+以下	511	15	-15	-6	-23	
24 合計	987	-101	91	44	-26	

注1: サブプライム関連の融資は行っていない。

注2: ビンテージ別比率は①2004年以前99%, ②2005-2006年0%, ③2007年以降0%。

注3: ビンテージ別比率は①2004年以前50%, ②2005-2006年37%, ③2007年以降12%。

注4: SIVが発行するキャピタルノートを含む。

注5: ビンテージ別比率は①2004年以前100%, ②2005-2006年0%, ③2007年以降0%。

注6: サブプライムRMBSを一部でも含むCDO of CDO's。但しサブプライムRMBSの含有率は僅少。

2. モノライン関連商品への投資の状況(注7)(単位:億円)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
1 モノラインによる保証付金融商品(注8)	1,310	-266	-214	67	-	
2 証券業務におけるモノライン利用	-	-	-	-	-	
3 合計	1,310	-266	-214	67	-	

3. レバレッジドローンへの投資の状況(注9)(単位:億円)

	エクスポージャー	3月末比	
		3月末比	3月末比
4 国内レバレッジドローン	314	0	-
5 海外レバレッジドローン	972	-68	-
6 合計	1,287	-69	-

4. トレーディング等の状況

当金庫はABCP, SIV, レバレッジドローンの組成, 引受, トレーディングを行っており, 関連する商品のトレーディング勘定での保有や連結非対象としているオフバランス取引は行っていない。ただし顧客企業の資産流動化を目的としたSPCを1件スポンサーしている(与信残高760億円)。

5. 米国住宅金融公社関連債券への投資の状況(注10)(単位:億円)

	エクスポージャー	3月末比		評価差額		損失額
		3月末比	3月末比	3月末比	3月末比	
7 エージェンシー・モーゲージ債	29,083	403	1,254	427	-	
8 エージェンシー債	12,293	-6,795	-181	-123	-	
9 合計	41,376	-6,391	1,073	304	-	

【参考】

・ファンド投資内のサブプライム関連商品の状況
サブプライム関連商品を主な投資対象とするファンドの保有はないが, 当金庫が運用を委託しているファンドにおいて, サブプライムRMBS(一次証券化商品)が含まれるものがある。(1)
ファンド内のサブプライムRMBS残高459億円, 評価損益▲90億円。

(1)ファンド内個別資産が把握できるファンドにおける当金庫調査ベース

注7: モノラインによる保証付金融商品と別にモノラインのCDSを含む証券化商品(CDO)を保有。

注8: 米国CLO, 米国ABS等で裏付資産の保証前格付けはいずれも投資適格相当以上を確保。また被保証商品にサブプライム関連商品はない。

注9: レバレッジドバイアウトを主な資金使途とする貸出で内部管理の定義による。貸倒引当金は122億円。

注10: この他に米国政府全額出資の米政府系機関である政府抵当金庫(ジニーメイ)保証付の住宅ローン担保証券の保有額は16,099億円。

注: 2010年6月末現在, 単体ベース

～ 単体ベース同様の利益水準を確保 ～

■ 経常利益617億円、四半期純利益644億円

(単位: 億円)	2009年 4月～6月	2010年 4月～6月	増減額	増減率
1 経常収益	3,668	2,815	-852	-23.2%
2 うち資金運用収益	1,702	1,654	-47	-2.7%
3 経常費用	2,887	2,198	-689	-23.8%
4 うち資金調達費用	1,893	1,386	-506	-26.7%
5 うち事業管理費	330	288	-41	-12.6%
6 経常利益	780	617	-163	-20.8%
7 特別利益	4	191	187	4,210.7%
8 特別損失	8	1	-6	-78.7%
9 税金等調整前四半期純利益	776	807	30	3.9%
10 四半期純利益	560	644	83	14.8%

(単位: 億円)	2010年 3月末	2010年 6月末	増減額	増減率
(資産の部)				
1 貸出金	130,976	127,125	-3,850	-2.9%
2 有価証券	439,947	456,470	16,523	3.7%
3 金銭の信託	65,566	66,759	1,193	1.8%
4 現金預け金	21,953	11,450	-10,502	-47.8%
5 その他	28,323	46,078	17,755	62.6%
6 資産の部合計	686,767	707,885	21,118	3.0%
(負債の部)				
7 預金	391,016	392,791	1,775	0.4%
8 譲渡性預金	7,027	6,035	-992	-14.1%
9 農林債	56,057	55,927	-130	-0.2%
10 借入金	20,433	16,786	-3,647	-17.8%
11 受託金	42,771	63,589	20,817	48.6%
12 その他	129,899	132,657	2,757	2.1%
13 負債の部合計	647,206	667,786	20,580	3.1%
(純資産の部)				
14 資本金	34,259	34,259	-	-
15 資本剰余金	250	250	-	-
16 利益剰余金	8,374	9,018	644	7.6%
17 その他	-3,322	-3,429	-106	-
18 純資産の部合計	39,560	40,098	537	1.3%

注: 2010年6月末現在。なお、2011年3月期第1四半期より四半期連結財務諸表のレビュー手続を任意で実施し、終了しております。

出所: 農林中央金庫

- 本プレゼンテーション資料に記載されている情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等についての検証を行っておらず、また、これを保証するものではありません。当金庫は、本プレゼンテーション資料に記載されている情報の利用から生じる損害が直接的、また、間接的であるかに関わらず、何ら責任を負いません。
- 本プレゼンテーション資料には、当金庫に関連する見通し、計画、目標などの将来に関する記述がなされています。これらの記述は、当金庫が現在入手している情報に基づき、本プレゼンテーション資料の作成時点における予測等を基礎としてなされたものです。また、これらの記述は、一定の前提(仮定)の下になされています。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、または将来実現しない可能性があります。
- 本プレゼンテーション資料は、有価証券の販売のための勧誘を構成するものではありません。